



# JBC news

since 1970

【毎月1回10日発行・1部20円】

JBCニュース  
第603号 2022年9月10日  
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所  
公益財団法人 全日本ボウリング協会  
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
Japan Sport Olympic Square 511号室  
03 (6804) 5605  
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>

## THE WAY OF GLORY



写真提供: タイボウリング連盟

### 第21回 アジアジュニアボウリング選手権大会

高校生日本一のタイトル獲得から1週間後、初めて日本代表として海外に挑んだ石田万音。胸の中には、先輩が切り開いてきた道をつなぐ決意がありました。シングルスで越えられなかったメダルへの壁を、チーム戦では仲間とともに突破して、最後まであきらめなかったことでつんだマスターズの銀メダルは値千金。彼女の活躍は後輩たちにも輝かしく映ることでしょう。

- 2~3面 第46回全日本高校選手権大会
- 4面 第21回 アジアジュニア選手権大会
- 5~7面 第12回全日本小学生競技大会
- 8面 INFORMATION



## いちごいちえ 会とちぎ国体

第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022



とちぎ国体・大会承認第1-49号



ボウリング競技

会場: 足利スターレーン

日程: 10/5(水)~10/10(月・祝)

JBC 公益財団法人 全日本ボウリング協会

JBCニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

スポーツクラブ



# 第46回全日本高校選手権大会



**優勝** 石田万音

## 小中高コンプリート

ニアオリンピックカップ第46回全日本高校選手権大会が8月3日(水)・4日(木)の両日、愛知・稲沢グランドボウル(公競No.122-0664)で開催された。男子は安田知弘(岐阜)が予選から一度もトップを譲らず、21大会ぶりとなる1年生王者の誕生となった。女子はこの世代屈指の実績を持つ石田万音(兵庫)が逆転で優勝し、小学・中学に続いて高校のタイトルをも手にした。



開会式で挨拶する北川薫会長

競技

### 女子の部

予選1回戦、我孫子美葵(宮城)が278を含む726でトップに立った。我孫子にいきなり105ピン差をつけられた石田万音(兵庫)だったが、2回戦で676をマークして逆転。濱崎りりあ(神奈川)も石田と26ピン差の2位につけた。3回戦で濱崎は240台を連発して708。石田も666としたが逆転を許した。我孫子は3位に留まったが、石田との差は108ピンまで広がり、上位2名が優勝に向けて優位に立った。2年前、同じ福沢での中学選手権では、石田が決勝戦で濱崎を逆転した。リベンジがかかる濱崎は、決勝1ゲーム目に246を打ち、リードを66ピンまで広げた。2ゲーム目はスコアが伸びなかった濱崎だが、41ピン差をつけて最終ゲームを迎えた。すると石田は逆転をかけて1フレーム目からストライクを連発。2ピン差まで追いついて最終フレーム勝負に持ち込んだ。第10フレームの1投目は2人とともにストライク。濱崎の2投目が9本となって、逆転のチャンスを迎えた石田はダブルを決めるとそのままパンチアウト。8ピン差で石田が優勝を決めた。



準優勝 濱崎りりあ



第3位 我孫子美葵



男子第3位の紺合涼太(北海道)



女子優勝の石田万音(兵庫)



女子準優勝の濱崎りりあ(神奈川)



女子第3位の我孫子美葵(宮城)



男子第6位の横内結樹(大阪)



女子第4位の渡辺希唯(群馬)



女子第5位の熊田菜奈海(埼玉)



女子第6位の崎山穂花(神奈川)

## 日本スポーツマスターズ2022岩手大会

### ボウリング競技

2022.9.22(木)-25(日)



BOWLING

日本スポーツ協会承認S.M.J-K-2202

主催 公益財団法人 日本スポーツ協会 岩手県  
公益財団法人 岩手県体育協会 公益財団法人 全日本ボウリング協会  
盛岡市  
主管 岩手県ボウリング連盟

盛岡スターレーン

〒020-0816 盛岡市中野1-20-7

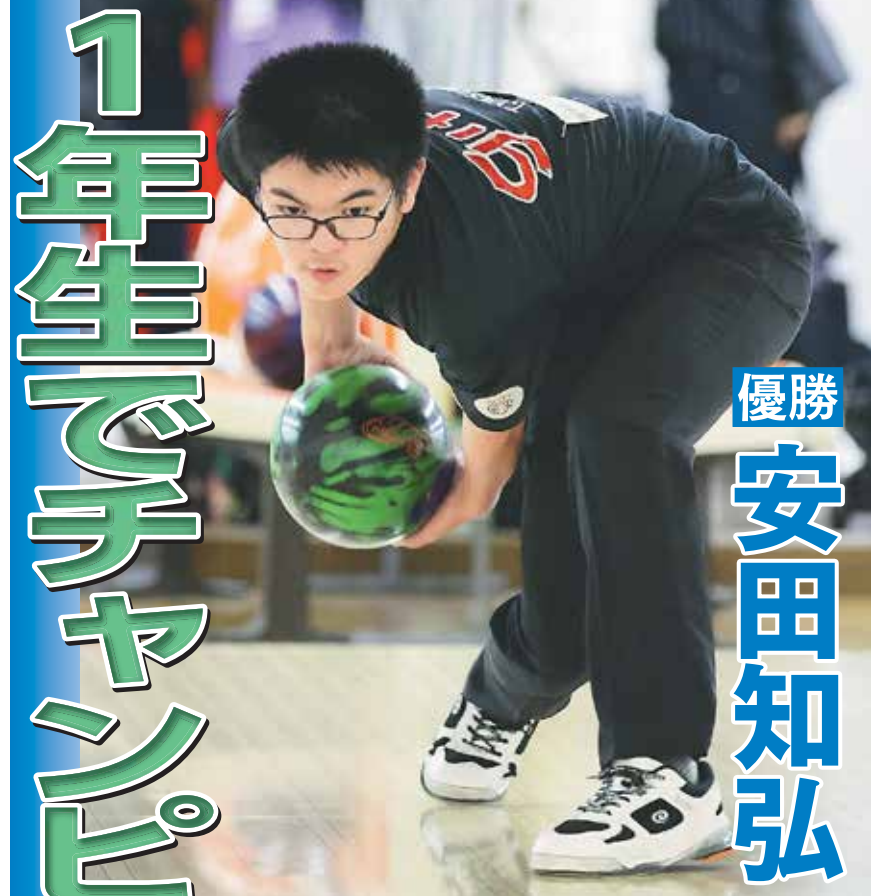
# JOCジュニアオリンピックカップ



第3位  
紺谷涼太



準優勝  
愛甲雅治



優勝  
安田知弘

## JOCジュニアオリンピックカップ 第46回全日本高校ボウリング選手権大会 成績表

2022年8月3日(水)~4日(木)  
会場: 愛知・稲沢グランドボウル  
男子207名 女子101名 計308名

### 《男子(12G)》

優勝	安田知弘(岐阜)	岐阜県立大垣工業高等学校	1年	2,659
準優勝	愛甲雅治(宮崎)	宮崎県立宮崎南高等学校	2年	2,542
第3位	紺谷涼太(北海道)	北海道帯広南商業高等学校	3年	2,522
第4位	座波政斗(沖縄)	沖縄県立首里東高等学校	2年	2,497
第5位	積田蒼生(東京)	聖徳学園高等学校	2年	2,496
第6位	横内結樹(大阪)	箕面学園高等学校	1年	2,491
ハイゲーム	安田知弘(岐阜)	岐阜県立大垣工業高等学校	1年	279
ハイシリーズ	安田知弘(岐阜)	岐阜県立大垣工業高等学校	1年	725

### 《女子(12G)》

優勝	石田万音(兵庫)	神戸野田高等学校	2年	2,583
準優勝	濱崎りりあ(神奈川)	神奈川県立綾瀬西高等学校	2年	2,575
第3位	我孫子美葵(宮城)	古川学園高等学校	1年	2,459
第4位	渡辺希哩(群馬)	前橋市立前橋高等学校	2年	2,376
第5位	熊田菜奈海(埼玉)	細田学園高等学校	2年	2,374
第6位	崎山穂花(神奈川)	神奈川県立綾瀬西高等学校	2年	2,349
ハイゲーム	吉田美咲(石川)	金沢龍谷高等学校	2年	288
ハイシリーズ	我孫子美葵(宮城)	古川学園高等学校	1年	726

# 1年生でチャンピオン

安田知弘(岐阜)が2014・2019とビッグゲーム連発の好スタートを切った。1回戦はシリーズ725で、2位

## 男子の部

安田知弘		県立大垣工業高校	岐阜県	16歳
使用ボール	Authority Solid(15p)			
公認トレーナー	田中善寛 (公認No. 1757-24)			
石田万音		神戸野田高校	兵庫	17歳
使用ボール	Marvel (Maxx) Black(15p3oz)			
公認トレーナー	平岡勇人 (公認No. 1587-28)			

の人見景己(栃木)に37ピン差をつけた。安田は2回戦も673にまとめて首位をキープ。横内結樹(大阪)が694を打って2位に浮上するも、安田のリードは66ピンに広がった。

3回戦では61と伸び悩んだ安田だったが、2位以下もスコアは伸びきらずに順位が大きく変動。紺谷涼太(北海道)が4位から2位に上がってきたが、安田は94ピン差を持って決勝を迎えることになった。

その決勝でも2位争いが激しかった。しさを増す一方、安田は危ないスコアメイクを続けていった。最後の3ゲームも646にまとめて上げて、準優勝の愛甲雅治(宮崎)とは177ピン差。リードを一度も縮めることなく、安田が逃げ切った。



男子優勝の安田知弘(岐阜)



男子準優勝の愛甲雅治(宮崎)



男子第4位の座波政斗(沖縄)



男子第5位の積田蒼生(東京)

## ハイゲーム&ハイシリーズ



女子HGの吉田美咲(石川) 女子HSの我孫子美葵(宮城) 男子HG・HSの安田知弘(岐阜)

ガイド  
で優勝を争う。今大会は石田万音選手(兵庫)が小学・中学・高校の3タイトル獲得を達成した。男女を通じて、水谷若菜選手(愛知)に次ぐ2例目の快挙となった。

## 第13回 東日本シニアボウリング選手権大会

2022/10/21(金)~23(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会  
後援 公益財団法人 長野県スポーツ協会  
協力 日本ボウリング機構(JBO)  
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団  
主管 長野県ボウリング連盟

## ヤングファラオ

〒381-0034 長野県長野市高田字久保1174  
TEL 026-221-2356

## 第13回 西日本シニアボウリング選手権大会

2022/10/21(金)~23(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会  
後援 公益財団法人 岡山県スポーツ協会  
協力 日本ボウリング機構(JBO)  
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団  
主管 岡山県ボウリング連盟

## サンフラワーボウル

〒701-0114 岡山県倉敷市松島1177  
TEL 086-462-3131

女子マスターズ戦で準優勝の石田万音(左端)



第21回アジアジュニア選手権大会が8月14日(日)から19日(金)にかけて、タイ・バンコクで開催された。新型コロナウイルスの蔓延をうけて3年ぶりに大会が実現し、日本代表も第26回アジア選手権大会(2019年)以来の公式国際大会派遣に、全日本ユースナショナルチームの高校生選手8名が参戦した。



女子チーム戦で銀メダル(左から)石田万音、近藤真桜、戸塚知菜、濱崎りあ

# 苦難のりこえ...3年ぶりのメダル獲得

## 第21回アジアジュニア選手権大会

### 競技

#### シングルス戦

男子・女子それぞれ半数ずつのグループに分かれて、6ゲームを通して投球。日本は近藤真桜(群馬)、濱崎りあ(神奈川)と菅原奏(岩手)、砂長空(群馬)が第1組に登場した。砂長はスタートから230台を連発、菅原は2ゲーム目の250を含め、確実にプラスを積み上げていった。299や300といったビッグスコアが頻出する中でも、菅原の安定感もあって、6ゲーム1368まで伸ばして、グループ1位で第2組の結果を待つことになった。

#### ダブルス戦

第1組は近藤・戸塚ペアと菅原・砂長ペアの出番。1ゲーム目砂長の279で絶好のスタートを切ると、2ゲーム目は2人そろって279と絶好調の男子ペア。菅原はシングルス同様6ゲームとも200UPし、砂長も1300台に乗せて、トータル2671の好スコアをたたき出した。しかしながら組内3位というシビアな結果に。近藤・戸塚ペアは一進一退のスコアでアベレージ200にわずかに届かず、それでも組内2位に留まってメダルの望みをつないだ。

#### チーム戦

大会中の定期的な抗原検査で、菅原と熊が新型コロナ陽性に。これにより2名は今後の競技に参加できなくなった。男子はチーム戦を棄権、砂長と座波はオールイベントの順位を決定するために6ゲームを投球することに。女子は決意を新たにチーム戦に臨んだ。

#### マスターズ戦

石田、戸塚、近藤が16位以内に入り、マスターズ戦への切符を手にした。ここからは1ゲームマッチを16回繰り返す。近藤は215・225で2連勝と好スタートを切ったが、200を下回れば負けを喫するシビアな展開。それでも3位と2位の差の5位で折り返した。

#### チーム戦

1ゲーム目は803で、接戦ながらも首位発進。2ゲーム目は苦戦するも、3ゲーム目の824でリカバリーして、トップのシンガポールと41ピン差の2位で折り返した。4ゲーム目、690を喫した日本はシンガポールに差を145ピンまで広げられ、3位にも追いつかれてしまう。それでも5ゲーム目は800と立て直し、追いついてきたマレーシアと3ピン差で何とか2位をキープした。

石田は前半7位、出だしは2ゲームはスコアが伸び悩んだが、その後は200超をキープし、5勝をマークした。戸塚は苦戦し14位。それでもラストは2連勝して後半につなげた。メダルに最も近い位置につけた近藤だったが、後半は勝ち星に恵まれず、戸塚も2連勝のあとが粘らずに順位を上げられなかった。石田はなんとか7位を維持していくと、中盤に256・235・213と打ち上げに成功して3位に浮上した。上位2名とは100ピン近い差があり、3名が僅差で最後の1枠を争うかたちになった。5位でラストのポジションマッチを迎えた石田は210を打って勝利した。3・4位の対戦はともにスコアが伸びず、石田は再逆転で3位に食い込んだ。

メダルの色を決めるステップラダー。まずは2位通過H A Z LY(シンガポール)との3位決定戦。石田は先にレフリットでオープンフレームを作るがダブルでリカバリー。H A Z LYは2度のスプリットで、石田が3マークリッドして終盤に入った。すると9フレーム目からH A Z LYはパンチアウト。それでも11ピン差を残して、石田が優勝決定戦へ駒を進めた。対戦相手はシンガポールのL I M。先にダブルを決められたが、すぐに追いついて接戦に持ち込んだ。しかし6フレーム目からL I Mにタキーを決められ、197対181。2ゲーム目は17ピン差以上をつけて勝利することがメダルの条件となった。しかしストライクがなかった。石田はL I Mに中盤4連続ストライクを決められ窮地に立たされた。L I Mは3フレーム目にスペアを外し、石田は8・9フレームでダブルに成功した。先に10フレーム目を投げたL I Mは198で終了。石田はオールウェー1なら215で逆転の可能性が。しかし、7番ピンが1本残り、石田は銀メダルが確定した。日本を出発する前に石田は、「(日本代表として)マスターズ連覇」を目標に掲げていた。あと一歩のところまで叶わなかったが、その発言に恥じない戦績を残した。

立たされた。L I Mは3フレーム目にスペアを外し、石田は8・9フレームでダブルに成功した。先に10フレーム目を投げたL I Mは198で終了。石田はオールウェー1なら215で逆転の可能性が。しかし、7番ピンが1本残り、石田は銀メダルが確定した。日本を出発する前に石田は、「(日本代表として)マスターズ連覇」を目標に掲げていた。あと一歩のところまで叶わなかったが、その発言に恥じない戦績を残した。



近藤真桜



濱崎りあ



菅原奏



砂長空



戸塚知菜



石田万音



熊凌汰



座波政斗

### 第21回アジアジュニアボウリング選手権大会

参加11の国と地域 104名(男子64・女子40)

2022. 8. 14-19 タイ・Biu-O Rhythm & Bowl

《男子シングルス戦》6 G	
優勝 S. I. T. S. Hafiz The(マレーシア)	1,435
準優勝 Lan Shao-Kang(中華台北)	1,407
第3位 A. Alkandari(クウェート)	1,406
第4位 菅原 奏(日本・岩手)	1,368
第15位 砂長 空(日本・群馬)	1,304
第34位 座波政斗(日本・沖縄)	1,203
第36位 熊 凌汰(日本・福岡)	1,187

《女子シングルス戦》6 G	
優勝 A. Victoria Lok(シンガポール)	1,334
準優勝 S. Wong Xue Lin(シンガポール)	1,300
第3位 Ramita Sarntong(タイ)	1,289
第4位 石田万音(日本・兵庫)	1,219
第9位 戸塚知菜(日本・愛知)	1,144
第14位 近藤真桜(日本・群馬)	1,105
第18位 濱崎りあ(日本・神奈川)	1,027

《男子ダブルス戦》2 x 6 G	
優勝 中華台北	2,748
準優勝 クウェート	2,743
第3位 マレーシア	2,725
第5位 日本(菅原・砂長)	2,671
第11位 日本(熊・座波)	2,501

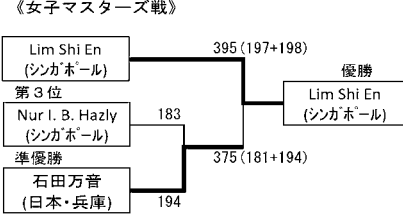
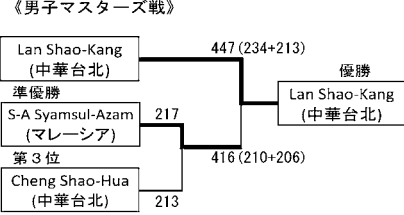
《女子ダブルス戦》2 x 6 G	
優勝 シンガポール	2,466
準優勝 マレーシア	2,424
第3位 シンガポール	2,410
第4位 日本(近藤・戸塚)	2,370
第7位 日本(石田・濱崎)	2,296

《男子4人チーム戦》4 x 6 G	
優勝 中国香港	5,299
準優勝 マレーシア	5,240
第3位 シンガポール	5,060

《女子4人チーム戦》4 x 6 G	
優勝 シンガポール	4,873
準優勝 日本(石田・近藤・戸塚・濱崎)	4,661
第3位 シンガポール	4,611

《男子オールイベント》18 G	
第1位 Lan Shao-Kang(中華台北)	4,163
第2位 Hassan Qasem(クウェート)	4,090
第3位 S. I. T. S. Hafiz The(マレーシア)	4,060
第19位 砂長 空(日本・群馬)	3,746
第32位 座波政斗(日本・沖縄)	3,638
第56位 菅原 奏(日本・岩手)	2,735(126)
第59位 熊 凌汰(日本・福岡)	2,451(126)

《女子オールイベント》18 G	
第1位 Ramita Sarntong(タイ)	3,884
第2位 A. Victoria Lok(シンガポール)	3,863
第3位 S. Wong Xue Lin(シンガポール)	3,748
第6位 石田万音(日本・兵庫)	3,594
第8位 戸塚知菜(日本・愛知)	3,553
第14位 近藤真桜(日本・群馬)	3,364
第17位 濱崎りあ(日本・神奈川)	3,311

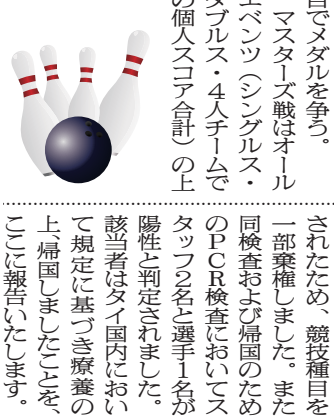


菅原 奏(岩手・盛岡市立高等学校)  
 砂長 空(群馬・桐生第一高等学校)  
 熊 凌汰(福岡・福岡県立香椎高等学校)  
 座波 政斗(沖縄・沖縄県立首里東高等学校)

近藤 真桜(群馬・太田市立太田高等学校)  
 濱崎りあ(神奈川・神奈川県立綾瀬西高等学校)  
 戸塚 知菜(愛知・愛知県立木曾川高等学校)  
 石田 万音(兵庫・神戸野田高等学校)

### ガイド

旧称は「アジアスクー  
ル選手権」。アジアボウ  
リング連盟傘下の各国・  
地域から18歳以下の選手  
が出場する大会で、新型  
コロナウイルスの影響で  
延期の末、3年ぶりの開  
催となった。  
男女別にシングルス  
戦、ダブルス戦、4人チ  
ーム戦(すべて人数x6  
ゲーム)とマスターズ戦  
を行い、オールイベント  
(個人総合)も含め10種  
目でメダルを争う。  
マスターズ戦はオール  
イベント(シングルス・  
ダブルス・4人チーム)の  
個人スコア合計の上  
トップ2名と選手1名が  
同検査および帰国のため  
PCR検査においてス  
タッフと判定されました。  
該当者はタイ国内におい  
て規定に基づき療養の  
上、帰国しましたことを、  
ここに報告いたします。



# 小学生特別指導会兼第12回全日本小学生競技大会

小学生特別指導会兼第12回全日本小学生競技大会が8月6日(土)・7日(日)の両日、愛知・稲沢グラウンドボウル(公競No.122・064)で開催された。小学4年生から6年生、156名が学年・男女別に競い、6名の優勝者全員が初の大会制覇を果たした。

大会に先立ち行われた特別指導会では、憧れのプロボウラーやナショナルチームメンバーからアドバイスを受けて、成長につながる2日間を過ごした。



## はじめての日本一!



6年 中川 結雅



5年 石原 昭太郎



4年 國澤 宇一

### 競技

#### 6年生男子

予選前半のトップは、連覇がかかる中田元輝(東京)が2位には前々回優勝の高橋望(茨城)が、この2名が660台で一歩抜け出した。高橋は後半も666をマークして、2位に留まった中田に82ピン差をつけた。

上位10名による準決勝でも高橋は695とし余裕の首位通過。3位で準決勝を迎えた中川結雅(埼玉)が624と打ち上げ、中田を逆転して決勝進出を決めた。

1ゲームマッチの決勝で先に攻めたのは中川。スタートからストライクを5つつけた。高橋も負けじとターキーを決めるが追いつかず。最後までミスなく237をたたき出した中川が、優勝経験者たちを抑えて初制覇となった。

#### 6年生女子

藤原彩花(京都)が予選前半にたまたま600UP。2位の奥田琴弓(山口)には58ピン差をつけた。後半も608と好スコアの藤原は、リードを15ピンまで広げた。しかし準決勝で藤原はスコアを落としてしまふ。奥田はシリーズハイが24ピンという安定感で、ここでも569をマークし1位通過をつかんだ。

決勝戦は両者スプリットから波乱のゲームスタートに。9本カウントで我慢を強いられる展開が続いたが、9フレーム目にストライクを決めた奥田がそのままターキーとし、藤原に競り勝った。

#### 5年生男子

小田島一路(神奈川)が前半598でトップ。2位には前回優勝の田中謙臣(栃木)が11ピン差で続いた。後半も小田島は600、田中は603と大接戦。3位の石原昭太郎(愛知)は6マーク差をつけられた。

準決勝はその石原が635と打ち上げて一躍トップに。決勝進出の残り1枠をかけた、小田島と田中はこども接戦。田中が辛くも5ピン上回った。

前回大会は田中が石原を抑えて優勝。今回は石原が優位にゲームを進めた。3フレーム目に両者ストライクを決めると、スプリットを喫した田中に対して石原はダブル。その直後にもターキーを決めた石原が25までスコアを伸ばしてリベンジを果たした。

#### 5年生女子

前回優勝の関根井文音(北海道)が首位発進も、3位まで27ピン差と接戦模様。後半も関根井と2位山越新菜(東京)は19ピン差、3位の松田寿夏(神奈川)は24ピン差と、トップ争いが激化した。2名だけが勝ち残る準決勝で、関根井は幸くも1位を守り抜き、松田は関根井と2位の差まで追いついて2位に滑り込んだ。

決勝戦、関根井は序盤スプリットが続いて苦戦するも、5・6フレーム目にダブルを決めた。スペアでしのいだ松田も、7・8フレーム目のダブルで関根井を1マークリード。勝負のかけた最終フレームは、松田が先に逆転を封じて優勝を決めた。

#### 4年生男子

予選前半は西川遥翔(京都)が526でトップに立ち、寺田唯人(愛知)と志賀勇斗(愛知)が1マーク差で続いた。後半も546とした西川が1位を守ったが、578をマークした國澤宇一(愛知)に12ピン差まで迫られた。すると西川は準決勝でスコアを伸ばせず、國澤が代わって1位通過すると、志賀も559とし西川を抜いて2位通過を決めた。

#### 4年生女子

決勝戦は志賀がダブルでスタートしたが、國澤も追うように2フレーム目からストライクをつなげて、5連発でリードを広げた。スプリットで途切れた國澤だったが、最終フレームに再びダブルを決めると、ビッグゲームで優勝を果たした。



6年 奥田 琴弓



5年 松田 寿夏



4年 松尾 悠月

### エキシビジョンマッチ

大会終了後、全6部門の優勝選手によるエキシビジョンマッチが開催された。坂倉いなプロ率いる女子チームと、坂倉凜プロ率いる男子チームに分かれて、バーカー方式1ゲームで対決した。この模様はYouTube「JBCボウリングLive」チャンネルで動画を公開中。

### ボウリング用品を入賞者にプレゼント

今大会にはボウリンググッズの豪華副賞が用意された。優勝者には選手が希望するボール(ハイスポーツ)と小物ケース(サンブリッジ)、準優勝者にはトリプルバッグ(アメリカンボウリングサービス)をはじめ、10位までの入賞者とハイゲーム賞選手全員に贈呈された。またエキシビジョンマッチに参加した選手には、ファイテン製品の詰め合わせがプレゼントされた。



### 特別指導会

競技に先立ち、大会出場選手と3年生以下のキッズボウラーも対象とした特別指導会が行われた。東海地区プロボウラー選手会のプロボウラーと全日本ナショナルチーム・ユースナショナルチームメンバーらが先生役を務めた。

ケガを予防するために大切なストレッチ方法や、基本に沿った投球動作を学び、未来に向かって大きく成長する礎を作った。

### 開会式

8月6日(土)13時15分から、アプローチを舞台に開会式が執り行われた。北川薫協会会長からのメッセージを齋藤良太郎専務理事が代読し、稲沢市の加藤錠司市長と、大会実行委員会会長の稲沢市北川薫協会会長



ボウリング協会・魚住明会長が選手を激励された。山崎地蔵寺太鼓による迫力の演奏で会場は盛り上がり、いよいよ競技スタートとなった。

また北川協会会長は開会式で、熱戦を繰り広げた選手たちをねぎらった。

稲沢市ボウリング協会・魚住明会長

稲沢市・加藤錠司市長

北川薫協会会長

太鼓で小学生にエール

真剣にレッスンに臨む小学生たち

# 第12回全日本小学生競技大会

## 小学5年生男子の部→



優勝の石原昭太郎 (愛知県)



準優勝の田中謙臣 (栃木県)



第3位の小田島一路 (神奈川県)



第4位の多田知弘 (鳥取県)



第5位の石井喜俊 (東京都)



第6位の北村凜斗 (和歌山県)

## 小学6年生女子の部→



第7位の山田燮斗 (茨城県)



第8位の加藤慎一郎 (愛知県)



第9位の増永侑真 (埼玉県)



第10位の岩崎喜成 (山口県)



優勝の奥田琴弓 (山口県)



準優勝の藤原彩花 (京都府)



第3位の林恋幸 (愛知県)



第4位の林虹歌 (稲沢市)



第5位の日吉麻奈美 (埼玉県)



第6位の小口真里奈 (長野県)



第7位の坂田愛実 (奈良県)



第8位の原田彩花 (稲沢市)

## 小学6年生男子の部→



第9位の櫻田倫子 (長野県)



第10位の塩原明依 (東京都)



優勝の中川結雅 (埼玉県)



準優勝の高橋望 (茨城県)



第3位の益子蒼 (茨城県)



第4位の中田元輝 (東京都)



第5位の浅野目拓也 (北海道)



第6位の高野隆太 (広島県)



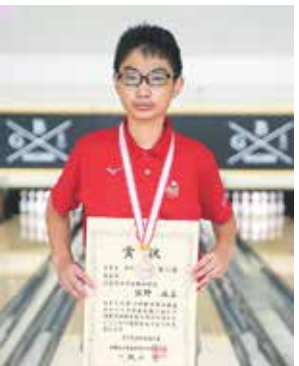
第7位の須田光翼 (神奈川県)



第8位の井村大輝 (和歌山県)



第9位の森海斗 (岐阜県)



第10位の濱野颯真 (広島県)

## 個人ハイゲーム



4年生女子の部・井村瑠菜 (茨城県)



4年生男子の部・國澤宇一 (愛知県)



5年生女子の部・松田寿夏 (神奈川県)



5年生男子の部・田中謙臣 (栃木県)



6年生女子の部・藤原彩花 (京都府)



6年生男子の部・中田元輝 (東京都)

**ガイド**

全日本小学生競技大会は、4・5・6年生を対象として開催。学年・男女別の6部門制で、予選6ゲーム(前後半各3ゲーム)と準決勝3ゲームの計9ゲームを投球し、決勝は上位2名による1ゲームマッチを行った。

この大会は、一般財団法人地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」の支援を受けて実施しています。



# 第12回全日本小学生競技大会

## 小学4年生女子の部→



優勝の松尾悠月(愛知県)



準優勝の井村瑠菜(茨城県)



第3位の千葉心晴(埼玉県)



第4位の塩崎美音(和歌山県)



第5位の大谷莉衣奈(群馬県)



第6位の高橋香帆(茨城県)

## 小学4年生男子の部→



第7位の清水ひおり(愛知県)



第8位の青山美咲(岡山県)



優勝の國澤宇一(愛知県)



準優勝の志賀勇斗(愛知県)



第3位の西川遥翔(京都府)



第4位の寺田唯人(愛知県)



第5位の井上真宏(神奈川県)



第6位の池田慧(愛知県)



第7位の福留誠真(神奈川県)



第8位の岩本剣太(長野県)



第9位の関川陽斗(神奈川県)



第10位の根岸啓仁(東京都)

## 小学5年生女子の部→



優勝の松田寿夏(神奈川県)



準優勝の関根井文音(北海道)



第3位の藤生紗妃(群馬県)



第4位の山越新菜(東京都)



第5位の工藤千佳(群馬県)



第6位の山口心優(群馬県)

# 第12回全日本小学生ボウリング競技大会 成績表

2022年8月6日(土)~7日(日)  
会場:愛知・稲沢グランドボウル

参加:156名

《小学6年生男子の部(9G・決勝1Gマッチ)》			42名
優勝	中川結雅(埼玉県)	関智学 國総合部	237
準優勝	高橋望(茨城県)	ひたちなか市立中根小学校	195
第3位	益子蒼(茨城県)	水戸市立吉沢小学校	1,847
第4位	中田元輝(東京都)	八王子市立城山小学校	1,804
第5位	浅野目拓也(北海道)	札幌市立東光小学校	1,744
第6位	高野隆太(広島県)	広島市立宇品東小学校	1,661
第7位	須田光翼(神奈川県)	日本大学藤沢小学校	1,657
第8位	井村大輝(和歌山県)	岩出市立上岩出小学校	1,654
第9位	森野海斗(岐阜県)	岐阜市立長森東小学校	1,651
第10位	瀧野颯真(広島県)	広島市立湯来南小学校	1,644
ハイム	中田元輝(東京都)	八王子市立城山小学校	257
《小学5年生男子の部(準決勝9G・決勝1Gマッチ)》			33名
優勝	石原昭太郎(愛知県)	名古屋市立千鳥小学校	225
準優勝	田中謙臣(栃木県)	栃木県宇都宮市立錦小学校	173
第3位	小田島一路(神奈川県)	川崎市立菅小学校	1,742
第4位	多田知弘(鳥取県)	米子市立車尾小学校	1,572
第5位	北井喜俊(東京都)	港区立木村小学校	1,556
第6位	石村凜斗(和歌山県)	和歌山市立大新小学校	1,528
第7位	山田暖斗(茨城県)	取手市立永山小学校	1,502
第8位	加藤慎一朗(愛知県)	名古屋市立捕撲間小学校	1,481
第9位	増永慎真(埼玉県)	さいたま市立大成小学校	1,480
第10位	岩崎喜成(山口県)	宇部市立見初小学校	1,474
ハイム	田中謙臣(栃木県)	宇都宮市立錦小学校	226
《小学4年生男子の部(準決勝9G・決勝1Gマッチ)》			32名
優勝	國澤宇一(愛知県)	名古屋市立平子小学校	223
準優勝	志賀勇斗(愛知県)	一宮市立神山小学校	176
第3位	西川遥翔(京都府)	京都教育大学附属京都小中学校	1,530
第4位	寺田唯人(愛知県)	刈谷市立衣浦小学校	1,528
第5位	井上真宏(神奈川県)	伊勢原市立伊勢原小学校	1,496
第6位	池田慧(愛知県)	豊田市立駒場小学校	1,386
第7位	福留誠真(神奈川県)	海老名市立東柏ヶ谷小学校	1,375
第8位	岩本剣太(長野県)	長野市立南部小学校	1,339
第9位	関川陽斗(神奈川県)	川崎市立ろう学校小部	1,303
第10位	根岸啓仁(東京都)	和光小学校	1,250
ハイム	國澤宇一(愛知県)	名古屋市立平子小学校	222

《小学6年生女子の部(9G・決勝1Gマッチ)》			25名
優勝	奥田琴弓(山口県)	山口大学付属山口小学校	178
準優勝	藤原彩花(京都府)	宇治市立西小倉小学校	161
第3位	林恋幸(愛知県)	一宮市立三條小学校	1,551
第4位	林虹歌(福沢市)	一宮市立奥小学校	1,508
第5位	吉麻奈美(埼玉県)	越谷市立大袋小学校	1,464
第6位	小口真里奈(長野県)	諏訪市立上諏訪小学校	1,461
第7位	坂田愛実(奈良県)	香芝市立鎌田小学校	1,444
第8位	原彩花(福沢市)	福沢市立津小学校	1,394
第9位	櫻田倫子(長野県)	茅野市立玉川小学校	1,388
第10位	塩原明依(東京都)	大田区立大森第五小学校	1,371
ハイム	藤原彩花(京都府)	宇治市立西小倉小学校	241
《小学5年生女子の部(準決勝9G・決勝1Gマッチ)》			16名
優勝	松田寿夏(神奈川県)	海老名市立今泉小学校	163
準優勝	関根井文音(北海道)	札幌市立開成小学校	159
第3位	藤生紗妃(群馬県)	みどり市笠懸西小学校	1,335
第4位	山越新菜(東京都)	大田区立大森第五小学校	1,333
第5位	工藤千佳(群馬県)	前橋市山王小学校	1,211
第6位	山口心優(群馬県)	桐生市神明小学校	1,204
第7位	藤居優奈(滋賀県)	愛荘町立愛知川小学校	1,157
第8位	新美琉葉(愛知県)	名古屋市立豊治小学校	1,151
第9位	宮城まいか(沖縄県)	那覇市立豊北小学校	1,139
第10位	松井ひなた(富山県)	高岡市立中田小学校	1,093
ハイム	松田寿夏(神奈川県)	海老名市立今泉小学校	188
《小学4年生女子の部(準決勝9G・決勝1Gマッチ)》			8名
優勝	松尾悠月(愛知県)	瀬戸市立西陵小学校	147
準優勝	井村瑠菜(茨城県)	取手市立寺原小学校	137
第3位	千葉心晴(埼玉県)	越谷市立川柳小学校	1,184
第4位	塩崎美音(和歌山県)	新宮市立三輪崎小学校	1,090
第5位	大谷莉衣奈(群馬県)	熊谷市立長井小学校	1,042
第6位	高橋香帆(茨城県)	ひたちなか市立東石川小学校	1,013
第7位	清水ひおり(愛知県)	一宮市立黒田小学校	964
第8位	青山美咲(岡山県)	岡山市立鹿田小学校	859
ハイム	井村瑠菜(茨城県)	取手市立寺原小学校	189



第7位の藤居優奈(滋賀県)



第8位の新美琉葉(愛知県)



第9位の宮城まいか(沖縄県)



第10位の松井ひなた(富山県)

# U22 is back! 国内ユースボウラー福岡に集まれ!

22歳以下の選手によるオープン大会「U22 Fukuoka 2022 Japan Bowling Tournament sponsored by STORM」が10月に開催されます。3年ぶりとなる今回は、日本国内のユース選手(※JBC会員)が対象。男女混合(ハンディキャップ有)で唯一の頂点を争います。

エントリーは9月30日(金)まで受付中。参加ご希望の方は所属連盟へお問合せください。

施設使用料 12,000円

主催 公益財団法人全日本ボウリング協会(JBC)、U22  
 特別協賛 ストーム社、株式会社ハイ・スポーツ社  
 後援 公益財団法人日本スポーツ協会、福岡県教育委員会、公益財団法人福岡県スポーツ協会  
 協力 日本ボウリング機構(JBO)、公益社団法人日本ボウリング場協会、日本ボウリング商工会、九州ボウリング連合会  
 公認 公益財団法人全日本ボウリング協会(JBC)  
 主管運営 福岡県ボウリング連盟

期日 10月22日(土)・23日(日)  
 会場 仲原Jボウル(公競No.140-142)  
 参加資格 2022年度JBC登録会員で各加盟団体より選出された、西暦2000年4月2日から、西暦2010年4月1日までに生まれた者。  
 競技方法 予選(8ゲーム)の上位



今回も賞金・副賞が充実(写真は前回優勝の畑秀明選手)



## ジュニアアジアパン認定会 大阪&群馬で開催

2022年度ジュニアジャパン強化選手認定会が開催されました。各都道府県連盟から推薦された有望選手が集まり、未来の日本代表を目指す一歩を踏み出しました。

8月9日(火)・10日(水)は大阪・神崎川ダイドールボウル(公競No.127・035)に、8月16日(火)・17日(水)は群馬・パークレーン高崎(公競No.110・006)に、東日本・西日本それぞれの各都道府県連盟から推薦された中学・高校生ボウラーが集まりました。

強化選手認定者の中から選ばれた選手は、10月29日(土)から31日(月)に静岡・DHC赤沢ボウル(公競No.121・094)開催する選抜選手強化合宿に参加します。

この事業はスポーツ振興くじ(toto)の助成を受けて開催します。



## いちご一会とちぎ国体 組合せ抽選会を開催



10月5日(水)に開幕するいちご一会とちぎ国体ボウリング競技の組み合わせ抽選会が、8月29日(月)に開催されました。

国体を主催する(公財)日本スポーツ協会の根本光憲事務局長に厳正なくじ引きで抽選していただき、全10種目のレーン配当を決定しました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となる国体。いよいよ準備も大詰めとなりました。

ボウリング競技会は入場制限実施  
 いちご一会とちぎ国体ボウリング競技会においては、感染防止対策のため入場は競技会関係者のみとなり、一般の方の入場はできませんので、ご注意ください。

## 2022年度 各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	2022年8月30日現在		リーグ公認件数
		競技会公認件数	開催実数	
北海道地区	北海道	17	38	2
	青森	31	27	
	岩手	22	31	
	宮城	28	47	
	秋田	5	7	
東北地区	山形	15		
	福島			
	茨城	17		
	栃木	13	16	
	群馬	17	46	5
関東地区	群馬	40	40	4
	埼玉	24	40	3
	千葉	16	22	3
	東京	20	8	15
	神奈川	20	8	5
北信越地区	山梨	15	8	
	新潟	1		
	長野	15	30	1
	富山	21	47	
	石川	19	19	4
東海地区	福井	9	2	
	静岡	22	25	2
	愛知	34	36	
	岐阜	20	19	
	三重	27	44	
関西地区	京都	47	23	2
	大阪	24	10	17
	兵庫	21		
	奈良	6		
	和歌山	14	12	
中国地区	取根山	10	9	
	岡山	3		1
	広島	32	35	4
	山口	14	7	4
	徳島	12	11	12
四国地区	香取	11	17	
	徳島	6	4	
	愛媛	2	5	
	高松	19	40	30
	福岡	3	2	3
九州・沖縄地区	熊本	14	21	13
	大分	8		4
	宮崎	21	25	6
	鹿児島	23	36	7
	沖縄	15	11	3
全日本学生連合		6	1	7
総計		759	781	138

協会主催大会参加時のJBC公認ゲーム消化数プロボウラーは免除に

協会主催大会参加にあたり会員に義務付けている「JBC公認ゲームの年間120ゲーム消化」について、プロボウラー資格を持つ会員は対象外とし、義務を免除します。2022年10月1日以降の協会主催大会より適用します。

- ### 賛助会員・特別法人・個人会員紹介
- 〈2022年8月11日以降登録者〉
- 【特別法人会員】
    - ▽石川県 都府商事株式会社 社百万石リゾートレーン (代表取締役前田知)
    - ▽静岡県 毎日企業株式会社 (代表取締役鈴木美佳)
    - ▽兵庫県 神戸六甲ボウル (支配人大野屋豊)、神戸市ボウリング協会(会長水井孝之)
    - 【特別個人会員】
      - ▽東京都 佐藤直亮(JBC副会長、連盟会長)、田中裕之(JBC評議員、連盟副会長兼理事長)、窪田洋(連盟副会長)、水野和
      - ▽兵庫県 松下秀雄(JBC理事、連盟会長)、瀬尾武夫(連盟副会長)、森岡京子(同)、水井孝之、川野建嗣、小川三太、白方宏宜、戸田征宏、大城戸和義
      - ▽広島県 難波江康雄、山本智哉、難波江美佐、細戸千聖、井戸寛、二宮知樹、濱野悠矢、渡邊葵、北川幸希、松本潤生 (順不同・敬称略)
  - 男、阿部信隆、野中秀和
  - ▽石川県 北川善昭(連盟副会長)
  - ▽兵庫県 松下秀雄(JBC理事、連盟会長)、瀬尾武夫(連盟副会長)、森岡京子(同)、水井孝之、川野建嗣、小川三太、白方宏宜、戸田征宏、大城戸和義
  - ▽広島県 難波江康雄、山本智哉、難波江美佐、細戸千聖、井戸寛、二宮知樹、濱野悠矢、渡邊葵、北川幸希、松本潤生 (順不同・敬称略)

### イベントカレンダー 9月&10月

- ▽9月3日(土) JBC公認第3種審判員認定会(西日本地区) 大阪・神崎川ダイドールボウル
- ▽9月4日(日) JBC公認第3種審判員認定会(東日本地区) 東京・貸教室・貸会議室(キヤパン隊) 長野・ヤングフアラオ
- ▽9月17日(土) ボウリング教室(キヤパン隊) 長野・ヤングフアラオ
- ▽9月18日(日) ボウリング教室(キヤパン隊) 埼玉・新狭山ランドボウル
- ▽9月22日(木) 日本スポーツマスターズ2022 スポーツマスターズ2022 岩手大会 岩手・盛岡スタジアム
- ▽10月5日(水) 10日(月)・10月21日(金) 第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体) 栃木・足利スタジアム
- ▽10月7日(金) 2022年度地区代表理事会 栃木・あしかがフラワーパークプラザ
- ▽10月11日(火) JBC公認トリナー有資格者研修会(義務研修会) 群馬・パークレーン高崎
- ▽10月17日(月) 18日(火) JBC公認トリナー有資格者研修会(プロンズコース) 神奈川県・ボウリング王国スポーツランド 八景店
- ▽10月21日(金) 23日(日) 第13回東日本シニア選手権大会 長野・ヤングフアラオ
- ▽10月21日(金) 23日(日) 第13回西日本シニア選手権大会 岡山・サンフワボウル
- ▽10月22日(土) 23日(日) U22 Fukuoka 2022 Japan Bowling Tournament sponsored by STORM 福岡・仲原Jボウル
- ▽10月29日(土) 31日(月) シュニャパン選抜選手強化合宿 静岡・DHC赤沢ボウル

# スポーツくじ

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

新登場! 大会ライブ配信専門チャンネル

YouTube 「JBC ボウリング Live」

Let's access! JBCのSNS